

2018年7月30日

各位

大日本住友製薬株式会社

「iPS細胞由来ドーパミン神経前駆細胞を用いたパーキンソン病治療に関する医師主導治験」開始についての京都大学医学部附属病院および京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA)の発表

本日(7月30日)、京都大学医学部附属病院および京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA)より、「iPS細胞由来ドーパミン神経前駆細胞を用いたパーキンソン病治療に関する医師主導治験」を2018年8月1日に開始することが発表されましたので、お知らせします。

当該発表の詳細につきましては、京都大学医学部附属病院のウェブサイト(<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/index.html>)に掲載のプレスリリース(『「iPS細胞由来ドーパミン神経前駆細胞を用いたパーキンソン病治療に関する医師主導治験」開始について』)をご覧ください。

大日本住友製薬株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:野村 博)は、本治療につき、京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA)と連携して実用化に向けて取り組んでいます。

以上

○本件に関するお問い合わせ先

大日本住友製薬株式会社 コーポレートガバナンス部 広報・IRグループ
(大阪) TEL 06-6203-1407/(東京) TEL 03-5159-3300